



輝く今井っ子



【学校教育目標：人を思いやり、共に高め合う子】
HPアドレス：<https://imai-e.fukuroi.ed.jp>

本日82日間の2学期が無事に終了しました。コロナウイルス感染症の心配もありましたが、充実した教育活動を行うことができました。昨日は5年生が地域の方に教えたいいただきながら、自分たちで育てた稲を使ってしめ縄づくりをしました。子どもたちの満面の笑顔に満足感が表れていました。今年も保護者や地域の皆様にはたくさんの御支援・御協力をいただき、感謝申し上げます。明日からはいよいよ冬休みになります。子どもたちにとって楽しく充実した休みになるよう、交通安全や家庭学習、感染防止対策等の指導をしました。御家庭でも声掛けをよろしくお願いします。

2学期終業式 校長の話(児童に向けて)

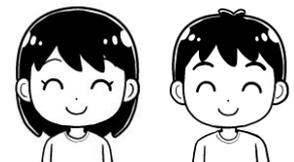
令和3年度2学期の最終日になりました。夏に開催された東京オリンピックにちなんで、この2学期、皆さんは、学習・運動・生活の金メダルを目指しました。目標に向かって努力し、あきらめずにやり抜くことに挑戦して、どんな金メダルを自分に与えることができたでしょうか。

2学期の学校アンケートでは、全校の96%（210名）が「みんなで何かをするのは楽しい」という気持ちをもっていると答えました。これは、今井小が「笑顔が集う学校」であることを表していて、とても嬉しいことです。

先日、6年生のIタイム（総合的な学習の時間）で、プロの女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」の監督（元・ジュビロ磐田の選手）と現役の選手が、ラグビーの魅力について話しました。「ラグビーは自分のように体が大きなくても、自分を生かして活躍できるポジションやプレーがある。いろいろな人がいて、お互いの違いを認め合い、まさしく多様性を発揮できるスポーツだと思う。」「自分一人でトライはできない。だめだと思っても、周りのアシストやサポートがあってトライを生み出すことができる。独りではなく、チームで助け合い、支え合ってプレーするところがいい。」と。この話を聞いたとき、お二人が感じているラグビーの魅力と同じことを、今井小の皆さんは、学校生活の中で味わっているのではないかと感じました。例えば、運動会がそうでした。運動会は、赤白競い合うだけでなく、応援団やダンスリーダー、結審や準備など運営に必要な係、開会式・閉会式など、いろいろな役がありましたが、たくさんの方が、自分の力を発揮して活躍しました。また、団体種目や表現運動では、一人一人がチームの一員として認め合い、力を合わせて、心に響く競技や演技を行いました。1年生から6年生までみんなで作り上げた運動会でした。運動会だけでなく、生活科やIタイムの活動、学級力アップ大作戦や係活動などの学級活動、委員会活動や縦割り活動などの児童会活動でも、自分の力や頑張りや役に立ったり、周りの人と力を合わせてやり抜いたりしたことが、どの子にも必ずあったと思います。

こうして、2学期を振り返ると、ここにいる誰もが、自分やクラスの目標達成や課題解決に向かって、主体的に取り組み、あきらめずにやり抜くことができたのではないのでしょうか。どの子も、それぞれの金メダルをつかむことができました。

3学期も、皆さんと一緒に、今井小をもっと魅力ある、笑顔が集う学校にしていきたいですね。2学期に成長した自分やクラスに自信をもって、3学期も新たな目標や課題にチャレンジしていきましょう。



【1月 生活のめあて】 「自分から進んで あいさつします」

4月は「明るい声であいさつします」9月は「笑顔であいさつし合います」が生活のめあてでした。挨拶のめあては3回目です。今回は「先取りあいさつ」や「地域の人にも自分からあいさつ」ができるように指導していきます。また、冬休みは新年のあいさつをする機会も多くあります。地域や家庭でも挨拶の輪が広がるように、皆で挨拶を盛り上げていきましょう。

裏面に「1月の下校時刻」があります。ご覧ください。